

二七六三番

紅くれなるの 浅葉あさはの野のらに 刈かる草かやの 東つかの間あいだも 我あ
を忘わすらすな

二七六四番

妹いもがため 命いのちのこ残せり 刈かり薦こもの 思おもひ乱みだれて
死しぬべきものを